

# 令和3年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加西高等学校)

目指す学校像	人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献できる人間を育てる学校 ～自らの力で夢を実現できる力を養う～
--------	---

達成度	A ほぼ達成 (8割以上)
	B 概ね達成 (6割以上)
	C 変化の兆し (4割以上)
	D 不十分 (4割未満)

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実</li> <li>社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実</li> <li>個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現</li> <li>地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進</li> </ol>
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	5名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	12名

年 度 目 標		年 度 評 価 (1月27日現在)		学 校 関 係 者 評 価					
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日 令和4年2月10日(書面)	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の習慣が定着していない。</li> <li>ICTを活用した授業が十分に実践できていない。</li> <li>図書館利用が増えている。</li> <li>3年間を見通した検定試験の計画を立てられていない。</li> <li>保護者の授業に対する関心が高まっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの環境整備が十分でない。</li> <li>ワンランクアップを目指した学力を定着させるために、家庭学習の時間を増やし、自学を定着させること。</li> <li>ICTを活用した授業について教員のスキルアップが必要。</li> <li>主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業内容を共有し、教員相互間で学び合いを行う。</li> <li>生徒の学ぶ意欲と探究心を刺激し、主体的に学習に取り組む姿勢を育成すること。</li> <li>図書館利用を引き続き増やし、読書習慣化する。</li> <li>3年間を見通して、計画的に資格取得ができるよう、学校全体で情報を共有して組織的に取り組むこと</li> </ul>	<p>自らの探究心を育て、自己の成長のために目標を掲げ、意欲的に自学できる生徒を育成する</p>	<p>①eポートフォリオ等を活用し、計画的に家庭学習に取り組めるように支援するとともに教科を超えた横断的な連携を強化し、家庭学習の時間を増加する。(通年)</p> <p>②ICTを活用した授業を年1回以上校内公開し、教職員の学び合いを進めるとともに、スキルアップのための研修会を年2回以上行う。</p> <p>③主体的・対話的で深い学びを取り入れるとともに生徒の探究心を育てる。(通年)</p> <p>④図書館利用を積極的に授業で取り入れ、利用を推進しながら生徒の読書習慣を支援する。(通年)</p> <p>⑤資格試験の情報をまとめ、生徒に周知するとともに3年間を見通した計画を生徒に考えさせる(通年)</p> <p>⑥検定試験の学習の支援を組織的に行い、合格に向けた補習等を充実し、資格取得を推進する。(通年)</p>	<p>①定期考査前の家庭学習の時間が増加するように全職員で指導する。</p> <p>①eポートフォリオ、キャリアパスポートを活用し家庭学習の定着を図り、学校教育アンケートで検証する。(昨年度比)</p> <p>②ICTを活用した授業を校内公開し、教員間の学び合いを強化する。</p> <p>②ICTを活用した授業実施に向けた教員研修会を実施する。</p> <p>③各教科で連携を図り、図書館を活用する授業を行う。</p> <p>③資格取得を計画的に進めるため、西高ブレイクスルーに検定試験の情報を掲載し、3年間見通した資格試験の取得に向けて生徒を支援する。</p> <p>③資格試験の受験者数及び合格者数を増加させる。特に、2級合格者を増やす。(昨年度比)</p>	<p>①定期考査前に学習スケジュールシートを配布し、計画的な準備を行うよう指導し、家庭学習時間の増加を図った。</p> <p>①各教科の授業の中で小テストや確認テスト等を小まめに実施し、それに向けての家庭学習を指示して学習時間の増加を図った。</p> <p>②10月5日～11月19日に授業研究月間とし学び合いの場を設けた。</p> <p>②各教室へのプロジェクターの設置とBYOD回線の整備が進んだことで、ICTの活用が進んだ。日常的に授業で使用する講座や、情報科以外でも情報処理室を活用する授業等徐々に浸透してきている。</p> <p>②分散登校時にはスタディサプリの活用他、一部の授業では双方向の授業配信やGoogleクラスルームでの板書配信等ICT活用が進んだ。</p> <p>②教員対象ICT活用研修会を実施し、スキルアップを図った。</p> <p>③資格取得に関しては、1年生の漢字検定全員受験、2年生の漢字検定or英語検定の選択全員受験により、各学年で朝学習の課題設定や対策等を講じることで合格率の向上を図った。</p> <p>③数学検定、簿記検定、家庭科技術検定等を実施し、各教科で対策指導を行って合格率向上を図った。特に家庭科技術検定では、普通科の生徒には極めて難しいとされる被服製作(洋服)1級と食物調理1級に2名が合格し、うち1名は被服製作(和服)1級と合わせた3冠を達成した。</p>	<p>①定期考査前に学習スケジュールシートを配布し、計画的な準備を行うよう指導し、家庭学習時間の増加を図った。</p> <p>①各教科の授業の中で小テストや確認テスト等を小まめに実施し、それに向けての家庭学習を指示して学習時間の増加を図った。</p> <p>②10月5日～11月19日に授業研究月間とし学び合いの場を設けた。</p> <p>②各教室へのプロジェクターの設置とBYOD回線の整備が進んだことで、ICTの活用が進んだ。日常的に授業で使用する講座や、情報科以外でも情報処理室を活用する授業等徐々に浸透してきている。</p> <p>②分散登校時にはスタディサプリの活用他、一部の授業では双方向の授業配信やGoogleクラスルームでの板書配信等ICT活用が進んだ。</p> <p>②教員対象ICT活用研修会を実施し、スキルアップを図った。</p> <p>③資格取得に関しては、1年生の漢字検定全員受験、2年生の漢字検定or英語検定の選択全員受験により、各学年で朝学習の課題設定や対策等を講じることで合格率の向上を図った。</p> <p>③数学検定、簿記検定、家庭科技術検定等を実施し、各教科で対策指導を行って合格率向上を図った。特に家庭科技術検定では、普通科の生徒には極めて難しいとされる被服製作(洋服)1級と食物調理1級に2名が合格し、うち1名は被服製作(和服)1級と合わせた3冠を達成した。</p>	B	<p>○新学習指導要領に対応した授業への改善に努める。</p> <p>○引き続き生徒に家庭学習の習慣化を働きかけ、学習時間の増加による学力向上を図る。</p> <p>○今年度整備の進んだ教員用サーバエイスの活用も含めて、教員のICT活用スキルの更なる向上を図る。</p> <p>○withコロナの状況下でのアクティブラーニングについての工夫を進める。</p> <p>○資格取得をきっかけとした生徒の進路意識の向上を図る。</p>	<p>○コロナ禍の中、生徒・学校が協力・工夫している学習や行事を行っている様子がよくわかりやすい限りである。</p> <p>○コロナ禍のため、一気にオンライン授業やICTを活用した授業が広まった感があるが、ICTの活用を含めた「授業力」の向上に努められているとのこと、ご苦労も多いかと思うが、引き続き継続的に取り組まれることを期待する。</p> <p>○中学校では生徒一人に一台タブレットが貸し出され、授業配信等が始まったが、実際は物だたあっても活用は難しい。NHK for school等を利用している。働き方改革の面からも、スタディサプリ等の外部の学習資源も大いに活用すべきである。</p> <p>○漢字検定・英語検定の全員受験、家庭科技術検定の合格等充分に成果を収められた。</p> <p>○資格取得は、受験等も含めて一生ついてまわるものあり、草加市では中学生の英語検定全員受験を行っている。高校でも継続して取り組むことは大変有効であり、効果が期待できる。</p>
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細かな生活指導は実践できている。</li> <li>規範意識を持って意欲的に学校生活を送る生徒が増えている。</li> <li>人間関係の悩みを抱えている生徒が複数おり、心の支援を必要としている生徒がいる。</li> <li>近隣住民から自転車マナーに対する意見が多く、登下校中の接触事故がある。</li> <li>生徒会が中心となって学校行事を運営出来ている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員と生徒との信頼関係を強化し、一人一人が規律ある態度を実践し、将来へ向けた自主自立と必要な規範意識をより一層向上させること。</li> <li>引き続き、全職員の共通理解を得ながら、生徒の安心、安全を確保し、充実した学校生活ができるようにすること。</li> <li>自己肯定感がある生徒を育てるため、活躍できる場を多く設定すること。</li> <li>部活動の予算編成を適正に行い、活性化につなげること。</li> <li>生徒が様々なところで自らの意思で決断し、行動できるようになること。</li> <li>心の支援を必要としている生徒に対して組織的に行うために連携体制を確立すること。</li> <li>登下校時の安全を確保すること。</li> <li>SNSの望ましい扱い方について十分理解できていない。</li> </ul>	<p>自らの意志で行動を律する力を持ち、規範意識の向上に努める生徒を育成する</p>	<p>①教職員間、保護者との連携を密にし、遅刻指導や身だしなみ指導等を実践することで基本的な生活習慣が生徒自らの力で身に付くように指導する。(通年)</p> <p>②スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。(年12回)</p> <p>③校内教育相談体制を充実し、草加分校と連携した体制を実現する。(通年)</p> <p>④二者面談の実施。(年2回以上)</p> <p>⑤生徒の規範意識を醸成し、交通ルールやマナーを守り交通事故ゼロを目指す。(通年)</p> <p>⑥SNSの望ましい扱い方について学び、生徒がトラブルに巻き込まれないようにする。(通年)</p>	<p>①欠席数、遅刻数の減少を目指す。(昨年度比)</p> <p>①皆勤者の増加を目指す。(昨年度比)</p> <p>②生徒が充実した学校生活を送れるようにスクールカウンセラーと連携を深めながら支援する。</p> <p>②個に応じて、東部教育事務所と連携する。</p> <p>②草加分校と協力した教育相談対応やケース会議等を実施し、情報共有の機会を設定する。</p> <p>②生徒との二者面談を4月、9月に実施する。</p> <p>③交通ルールを守り、登下校時の交通事故を無くす。(昨年度比)</p> <p>③SNSについて講演会等を通じて学び、望ましい扱い方を身につける。必要に応じて生徒会主体で呼びかけを行う。</p>	<p>①欠席率:1.85%、遅刻率:0.65%(3/24現在)</p> <p>①皆勤者:241名(3/24現在)</p> <p>②スクールカウンセラー来校日には、生徒だけでなく保護者とのカウンセリングも行われ、そのフィードバックも含めて空き枠のないほど利用が進んだ。</p> <p>②二者面談については、全体として取り組んだ他にも必要に応じて個々に実施し、生徒の学校生活を支援した。</p> <p>③県の交通安全教室に参加した生徒による伝達講習をはじめ、折に触れて自転車のマナーや交通安全について呼びかけを行い、交通マナーの向上と事故防止に努めた。登下校中の事故:12件</p> <p>③警察の担当者をお招きして、ネットトラブルについての講演をしていただき、SNS等の安全な利用について学習した。</p>	A	<p>○次年度も継続してきめ細かな生徒指導を行う。</p> <p>○生徒指導の方針を全職員で共有しながら実践していく。</p> <p>○全職員で生徒の学校生活を支援していくとともに、心のケアを必要としている生徒に対する教育相談体制をより充実していく。</p> <p>○分校との連携を強化し、インクルーシブ教育を推進する。</p> <p>○交通安全を励行し、自転車マナーアップを意識させる。</p> <p>○生徒の様子も大変落ち着いてきている。西高生のマナーについて、悪いという話は聞かなくていい。</p>	<p>○時間を守ることは社会の基本であり、習慣づけは大変重要である。丁寧な指導でしっかりと成果を挙げている様子がわかる。</p> <p>○コロナ禍で思うような活動ができず、また、家に閉じこもりがちになるなか、生徒のメンタル面への影響が危惧されるところだが、スクールカウンセラーとの連携を深めた支援に取り組まれているとのこと、安心した。「空き枠がいっぱい利用が進んだ」とのことだが、「予算・人的な制約はあるのではしうが」さらなる充実が望まれる。</p> <p>○中学校ではスクールカウンセラーだけでなくスクールソーシャルワーカーも定期的に来校し、担任と連携して家庭訪問を行う等のサポートをしている。教員だけでは難しい家庭の問題への対応にも有効であり、参考になると思われる。</p> <p>○生徒の様子も大変落ち着いてきている。西高生のマナーについて、悪いという話は聞かなくていい。</p>	
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科や各分掌との連携により、生徒の進路実現の達成率は90%を超えている。</li> <li>大学等への進学者が増加傾向にあり、大学進学指導について保護者からの要望がある。</li> <li>公務員試験に一次合格する生徒が増えている。</li> <li>保護者に必要な情報は発信できている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンランクアップの進路を目指してチャレンジする意欲を向上させること。</li> <li>進路指導の方向性について共通理解で取り組むこと。</li> <li>生徒が大学受験に臨むために必要と組織的な支援体制について検討すること。</li> <li>ルーブリックを使用した観点別評価について研究を推進、実践すること。</li> <li>生徒の多様な進路希望への対応を今まで以上に組織的に行うこと。</li> <li>公務員を目指す生徒への支援を早期から計画的、組織的に進め、二次試験合格者を増やすこと。</li> <li>保護者へ進路に関する情報発信を行うこと。</li> </ul>	<p>希望する進路に向けて意識を高め、ワンランクアップの進路実現を目指して早めに準備し、チャレンジする意欲を持つ生徒を育成する。</p>	<p>①3年間を見通した進路指導計画について確認し、指導の方向性について全職員が共通理解を持つ。(通年)</p> <p>①ワンランクアップの進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持たせる。(通年)</p> <p>②大学受験の支援を行うための組織について、草西ビジョン検討チームを中心に検討する。(通年)</p> <p>②進学希望者向けの補習や補講を実施する(通年)</p> <p>②教員向けの進路指導研修(進学)を実施する。(年2回)</p> <p>③長期休業中や放課後を活用して、公務員希望者対象の講座、就職者対象の補習等を計画的に実施する。(通年)</p> <p>④学校ホームページを活用して進路に関する情報を的確に提供し、質の高い進路指導を継続する。(通年)</p>	<p>①進路指導主事による進路講話や進路指導研修等を実施する。</p> <p>①生徒が希望する進路の決定(100%)を目指し、職員が一丸となって生徒自身の力で活動につなげる支援をする。</p> <p>②実施している補習や補講を見える化し、組織的な支援体制について検討する。</p> <p>②大学等が実施する進路説明会へ教員を派遣し、常に新しい情報を把握、共有して生徒面談等で還元する。</p> <p>③公務員希望者対象の講座を計画的に実施し、早期の段階からチャレンジするよう支援する。(通年)</p> <p>④ホームページ等で進路行事や進路情報を定期的に更新し、保護者へ提供をする。</p> <p>④各学年から進路だよりを年6回以上発行する。</p>	<p>①進路指導部主催による講演会等の進路行事を各学年で実施。</p> <p>①37期生の進路決定状況:100%(3/24現在)</p> <p>就職希望者(学校紹介・自己開拓とも)100%、看護学校100%(うち公立4名)、大学100%(うち公立1名)大学進学では、安全圏の大学への指定校推薦による進学者の割合が減少し、上位校への総合・公募による合格者数が大きく増加している。</p> <p>②長期休業中を中心に進学補講を実施した。</p> <p>②大学等が実施する進路説明会(集合型・オンライン型)へ積極的に参加し、情報を把握した。また、上級学校や企業との連携も密になり、新たな指定校や優良企業の開拓にもつながった。</p> <p>③コロナ禍の影響で教員向けの進路研修会は1回の実施にとどまった。</p> <p>③キャリア教育の充実による、生徒のモチベーションアップに向けて、1、2年それぞれに分野別説明会を行った。</p> <p>③専門学校の講師を招いての公務員希望者対象講座や採用担当者による就職面接練習等を継続的に実施し、生徒のチャレンジを支援した。</p> <p>④進路情報の提供にGoogleクラスルーム等での配信を行った。</p> <p>④各学年学期末に進路だよりを発行した。</p>	A	<p>○各種の行事を通じて生徒に達成感や一体感を味わわせることで学校生活を充実させる。</p> <p>○部活動を活性化させるため、生徒同士の情報の共有を進め、仲間同士で応援し合う雰囲気や醸成する。</p> <p>○積極的に地域のイベント等に参加し、生徒の自己肯定感や責任感を育てていく。</p> <p>○本校独自のサポーター制度を活用し、専門的な技術と知見を持った方と連携を継続していく。</p>	<p>○コロナ禍で仕方ないが、甲学生にとっては、文化祭等での先輩たちの生き生きとした姿を見ることが高校生活への憧れにつながり、進路意識の向上にも関係する。コロナ収束後の一般公開再開に期待する。</p> <p>○高校に入っても部活動を続けたいという中学生は多く、部活動が充実している様子は大変素晴らしい。部活動見学の際の先輩たちの生き生きとした様子、楽しそうな雰囲気は生徒募集の面でも大いに有効である。</p>	
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な情報発信と施設開放、地域ボランティア等を行っている。</li> <li>近隣中学校と良好な関係を築いている。</li> <li>近隣大学との連携を少しずつ進めている。</li> <li>学校行事や授業公開への保護者の参加数は年々増加している。</li> <li>草加かがやき特別支援学校草加分校との交流は良好である。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小・中学校との交流を継続して実施するとともに定着化させること。</li> <li>PTA活動への保護者理解と参加者を拡大すること。</li> <li>地域住民の方々が来校する機会が限られている。</li> <li>獨協大学との取組を検証し、進展させること。</li> <li>分校との相互理解を推進するため学校行事を中心とした交流を行うこと。</li> <li>職員の交流(合同研修会)に取り組むこと。</li> </ul>	<p>様々な人との交流を通して人権感覚を育成し、コミュニケーションを図りながら地域活動等に参加できる活動的な生徒を育成する。</p>	<p>①生徒自身が地域で活躍することを通して、地域住民や小・中学校等に本校の良さを発信し、地域に根差した信頼されるの高校として魅力を発信し、学校説明会に参加する人数を増やす。(通年)</p> <p>①ホームページを効果的に活用し、生徒の活動を積極的に掲載する。(通年)</p> <p>①獨協大学との取組を年1回行い、検証する。</p> <p>②PTA・後援会理事会を中心として、保護者間の連絡や連携を強化するとともに、各種行事等に職員と一緒に参加する。</p> <p>③草加分校と連携し、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員が一緒に行い一体感を味わう。(通年)</p> <p>③草加分校の職員と合同研修を行い、職員間の交流を推進する。(通年)</p>	<p>①学校説明会への参加者650名以上を目指す。(昨年度約690名)</p> <p>①ホームページのトップページを積極的に更新する。(昨年度比)</p> <p>①ホームページの部活動のページを全職員で積極的に更新する(通年)</p> <p>①獨協大学との取組を年1回行い、交流を深める。</p> <p>②地域ボランティア活動への参加部活と生徒数を増加させる。</p> <p>②保護者の授業公開やPTA活動、各種行事等への参加数を増加させ、学校への関心を高める。</p> <p>③合同での行事を実施する。</p> <p>③日常での相互交流を図る。</p> <p>③合同研修会(年1回以上)を実施し、職員間の交流を図る。(通年)</p>	<p>①部活動見学・学校説明会合わせて684組の参加があった。この他、東部進学フェアをはじめとする外部団体主催の説明会や中学校主催の進路説明会に参加した。</p> <p>①ホームページの更新175回、アクセス数24万4千回(3/24現在)</p> <p>①新田小学校との小高連携スポーツ交流を、陸上競技部と女子バレー部の2回実施した。</p> <p>①2、3学期末に地域清掃活動を実施し、ボランティア部、男女バスケットボール部他のべ172名の生徒が参加した。(3/24現在)</p> <p>①コロナ禍の影響で、獨協大学との取り組みを実施することはできなかった。</p> <p>②コロナ禍の影響で、PTA行事はことごとく実施できなかった。通常ならばPTAの方にもご覧いただく体育祭や文化祭も非公開となり、保護者の関りは減少してしまっした。</p> <p>③例年行われているパン販売や共同緑化事業、西高生の分校授業体験等の行事を実施した。</p> <p>③学校全体での交流として、年度当初の交流会、体育祭、文化祭等多くの場面で交流を進めることができた。特に今年度「みんな幸せ 共生社会 県民のつどい」への参加をきっかけに、分校生有志と西高ダンス部有志による文化祭での合同パフォーマンスでは、事前練習から文化祭当日、そして県民のつどいでの追加収録等、継続的な交流を図ることができた。</p>	A	<p>○ホームページの活用を始め、あらゆる方法を検討しながら、草加西高校の魅力の発信を行う。</p> <p>○地域に根差した学校として、地元小中学校との連携を深め、地域貢献を図る。</p> <p>○草加市役所や草加アコス等、今年度つながった地域との関係を大切にし、更なる発展を模索する。</p> <p>○withコロナの状況下でのPTA活動の在り方を模索し、生徒のために学校と家庭が共に歩む道を開く。</p> <p>○高校内分校設置校の先駆けとして、分校とのより積極的な交流を推進し、インクルーシブ教育の発展を図る。</p>	<p>○コロナ禍の影響で、地域連携には制約が多く、思うような活動はできなかったことと思うが、その中でも、可能な限りの活動を含めていることが分かった。積極的な情報発信を含め、今後とも継続を期待する。</p> <p>○社会ではESG活動が目ざされている中、今後も地域清掃活動等草加西高等学校らしい社会貢献学校教育を続け、生徒の人格向上に結びつけていただくことを願う。</p>	